



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦

電話・FAX 534-0267

E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com

http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi

気象庁の3カ月予報によると、今年の暑さは、平年並みか、やや高めと発表されていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年6月の2期目の当選から、はや1年が過ぎました。一日一日を大切に、真剣に働いてきましたが、特に3月の大震災以降は、これまでと違った日々となりました。

今まで、私達の生活では、電力や水、空気などは、いつでも安全かつ十分に供給されるものだと“錯覚”してきた感じがします。

いま、各方面から「節電」が呼び掛けられています。自分の身近な所にも様々な無駄があったのではないかと見つめ直しています。本当の「豊かさ」とは何かを、あらためて考える時であるとも感じます。

復興に向けて懸命に努力されている方々を最大限に応援しながら、私自身、“原点”に立ち返り、市議会議員として、今まで以上に、市民の皆様の安全・安心のために全力で働いて参ります。



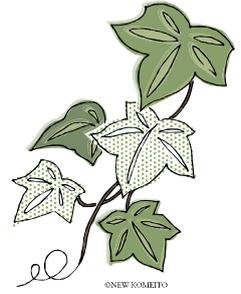
【2011年 第2回市議会定例会で】

2011年第2回市議会定例会が6月6日から23日まで開催されました。東日本大震災以後初めての定例会で、私は、防災対策や災害に強いまちづくりについて、重点的に質問しました。

補正予算の審議では、家具転倒防止器具の追加支給と、高齢者世帯に熱中症予防対策として冷却用の首ベルトを支給することが決まりました。

延期が心配された小・中学校の空調機器設置については、予定通り今年度を実施される運びとなりました。このほか、看護師不足解消へ市内在住の潜在看護師の方の再教育と就職支援をスタートすることになりました。

私の一般質問の主な質問内容



★防災・減災について

- ◆主張 東海地震、東南海地震等の連動型大地震の発生を想定して、市民の生命・財産を守る為、市の地域防災計画を見直していくべき
〈答弁〉 国や東京都の防災計画の見直しに合わせ、本市の防災対策の検証作業を進め、計画やマニュアルに反映していく（市長）

- ◆主張 大地震発生時、災害情報の収集・伝達に於いて、市職員の安否確認・参集を急ぐべく、職員の参集システムを導入すべき
〈答弁〉 初動期の災害対応では、職員の参集状況を全体的に把握することが重要で、導入に向けて検討していく（市民生活部長）

- ◆主張 震災直後、様々な情報の収集・伝達に於いて、ツイッター（簡易ブログ）が大変に効果を挙げた。本市でも公式に立ち上げるべき
〈答弁〉 情報収集のツールとして有効であり、公式に活用している先進自治体を参考にして検討していく（総合政策部長）

- ◆主張 防災無線が聞き取りにくい地域や、良く聞き取れなかった場合の為に、放送内容を電話で確認出来る、自動録音サービスを導入すべき
〈答弁〉 一定の効果が期待できると考えており、費用対効果を含め検討していく（市民生活部長）

- ◆主張 防災の専門知識・技術を習得する防災士の育成について、防災に関心を持つ市民の方に、資格取得者を増やすよう努力すべき
〈答弁〉 市民防災組織等と連携して、市域内に防災士資格を持つ防災リーダーを配置出来るよう支援していく（市民生活部長）

- ◆主張 災害時に市が行う優先業務を定めた事業継続計画（BCP）の策定が遅れているが、急ぐべき
〈答弁〉 現在、計画素案の確認作業を行っており、9月議会には計画案を提出する（市民生活部長）

- ◆主張 現在被災地の多くで活用されている、罹災証明の発行や義援金等を一元的に管理する、被災者支援システムを本市でも導入すべき
〈答弁〉 事前に準備することで、災害発生時の被災者支援、救援物資の管理を容易にするものと考え導入を図っていく（市民生活部長）

皆様の声で実現しました！

7月1日から、立川栄郵便局・柏郵便局で住民票の写し、印鑑登録証明書などの発行がスタート

私は平成18年の初めての議会いらい、住民票等のコンビニなどでの発行を訴えてきましたが、その第一歩として、郵便局（栄・柏）でサービスが始まります。今後も、皆さまのご要望にしっかり応えて参ります。

※詳細は市民課 523-2111（内線1361）へ



証明書自動交付機の手数料が減額しました！

市では、6施設（市役所・窓口サービスセンター・砂川学習館・東部連絡所・西部連絡所・錦連絡所）に証明書自動交付機を設置し、住民票の写し等を発行していますが、6月1日より、手数料を1通200円から150円に減額しました。利用には「立川市民カード（印鑑登録証）」が必要です。これは、平成20年の第4回定例会での私の主張が実現したものです。

※詳細は市民課（内線1361）へ



粗大ごみ処理券に300円券が加わります

7月1日の粗大ごみ収集分より、粗大ごみ処理券1,000円券と組み合わせれば300円券が使用できるようになります。これまで、1,000円を超えた場合は、2,000円を負担しなければならず大変不便でした。これは、平成21年の決算特別委員会で、私が提案していたものです。 ※詳細は、ごみ対策課 531-5518 まで



柏小学校のプールの改修

このほど、柏小学校のプールの改修工事が終了しました。プールの底が劣化して傷みが激しかったものです。これからは皆様の声を実現して参ります。



砂川町の雨水溝の改修

このほど、砂川町5丁目にある雨水溝の改修工事が終了しました。大変に傷みが激しく、危険だという声が寄せられていたものです。

立川市内の放射線・放射能に関する情報

●空間放射線量測定について

立川市は、空間放射線量の実態を把握するための測定を行います。市域を2kmメッシュで分割し、8カ所を定点測定場所に指定し、2週間に1回の割合で測定します。また、定点以外の施設（保育園、幼稚園、小学校、学童保育所、児童館、中学校、公園）92カ所を指定し、放射線量の測定を実施します。測定後は市のホームページに掲載します。

※6月21日に東京都により立川市内の測定が実施されました。結果は下記の通り。

①砂川中央地区多目的運動場（砂川町5-26）

線量率 高さ1m 0.04 μ Gy/h(マイクログレイ/時間)

線量率 高さ5cm 0.04 μ Gy/h(マイクログレイ/時間)

②諏訪の森公園（柴崎町1-1）

線量率 高さ1m 0.05 μ Gy/h(マイクログレイ/時間)

線量率 高さ5cm 0.06 μ Gy/h(マイクログレイ/時間)

・大気中の放射線量1グレイは1シーベルトに換算できます。

高齢者世帯に冷却用の首ベルトを支給

一人暮らし高齢者（65歳以上）、及び高齢者のみの世帯の方に、熱中症予防対策として、冷却用の首ベルトを支給する事になりました。水で濡らして使用するタイプのもので、シルバー人材センターに委託し、7月初旬から対象者の方に順次支給されます。※皆さま、合わせて十分な水分補給をお願いします。



市立小・中学校に製氷機を配備



暑さ対策として今夏、市立の全小・中学校に製氷機が配備されます。6~15分程で氷ができます。保健室などに設置されて、部活動や体育の授業などで活用されます。

休日保育を実施へ

夏の電力需給対策に伴う企業の就業時間等の変更に伴い、保育園（上砂・柴崎）、学童保育所（上砂・錦）で、休日保育（7月~9月）を実施します。立川市に住民登録が有り、現在、保育園、学童保育所に通っている方が対象となります。



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい！

◆市議会・環境建設委員会委員長

<高口やすひこ励ます会 発行>